

検査学生の多様なキャリア選択

◎有益学志¹⁾

純真学園大学保健医療学部検査科学科¹⁾

臨床検査技師の就職先は病院勤務が中心であり、学生にとっても病院勤務が第一の選択肢とされる傾向が強い。しかし、近年は検査センターや研究機関、医療機器メーカーなど、従来とは異なる場で活躍する機会が広がっている。こうした多様な選択肢を知ることは、進路を模索する学生にとって重要である。

大学において実習前に受講したキャリア形成に関する授業では、臨床検査技師の働き方が病院に限られないこと、多様なキャリアパスを主体的に考える必要性を学んだ。この学びは、その後の就職活動において視野を広げる契機となった。臨地実習では病院勤務の専門性や社会的意義を理解する一方で、臨床検査技師の資格を持つ医療機器メーカーの担当者が現場で活動している姿を目の当たりにした。この経験は、病院以外でのキャリアを具体的にイメージする大きなきっかけとなった。

その後、就職活動を通して企業説明会に自主的に参加し、医療機器メーカーにおける学術職や営業職といった職種に関心を持つようになった。製品を通じて幅広い医療現場に貢献できる可能性に魅力を感じ、病院勤務と企業勤務を比較検討した結果、企業への就職を選択するに至った。

本発表では、授業での学びと実習や就職活動での経験をもとに、キャリア選択に至る過程を整理し紹介する。これにより、同じ立場にある学生が自身の将来を考える際に、病院以外の可能性を考えるきっかけとなることを目指す。